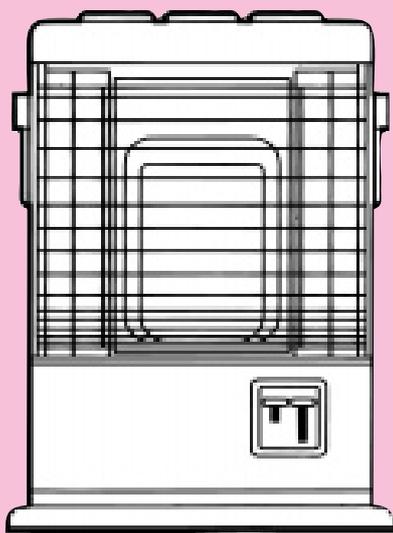


ガス赤外線ストーブ

RSS 22BD 形式の呼び R 452PMS III 301
RSS 33AD 形式の呼び R 652PMS III 301
RSS 44BD 形式の呼び R 852PMS III 301



取扱説明書



ご愛用の皆様へ

このたびは、ガス赤外線ストーブをお買い上げいただきまして、ありがとうございます。

ご使用になる前にこの取扱説明書をお読みいただき安全に正しくお使いください。幼いお子様にはさわらせないでください。別添の保証書の内容をよくご確認のうえ、取扱説明書とともに大切に保管してください。

取扱説明書を紛失した場合は、お買い上げの販売店、またはもよりの東邦ガス営業所、サービスセンターにて再購入してください。

この機器は国内専用ですので海外で使用しないでください。

もくじ

	ページ
安全上のご注意	1
機能と特長	8
各部のなまえとはたらき	9
機器の設置	10
使用方法	12
日常の点検とお手入れ	14
乾電池の点検・交換	16
故障かな？と思ったら	17
安全装置が作動したときの処置	18
保管とアフターサービス	19
仕様・寸法図	21

安全上のご注意

必ずお守りください

この機器を安全に正しくお使いいただくために、この項は必ずお読みください。

この取扱説明書および製品への表示では製品を正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

表示	意味
危険	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡、重傷を負う危険、または火災の危険が差し迫って生じることが想定される内容を示しています。
警告	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡、重傷を負う可能性、または火災の可能性が想定される内容を示しています。
注意	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性や物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵表示について次のような意味があります。



危険

ガス漏れ時使用厳禁

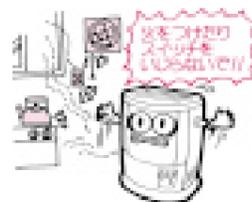
ガス漏れに気づいたときは



火気禁止

ガス漏れに気づいたときはガス事業者(供給業者)の処置が終わるまでの間絶対に火をつけたり電気器具(換気扇その他)のスイッチの「入・切」や電源プラグの抜き差しおよび周辺の電話を使用しないでください。

炎や火花で引火し爆発事故を起こすことがあります。



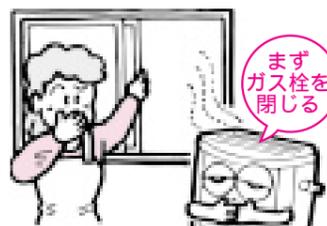
すぐに使用をやめ、
ガス栓を閉じる。

窓や戸を開けガスを
外へ出す。

お買い上げの販売店またはもよりの
ガス事業者(供給業者)に連絡
してください。



必ず行う



まず
ガス栓を
閉じる



警告

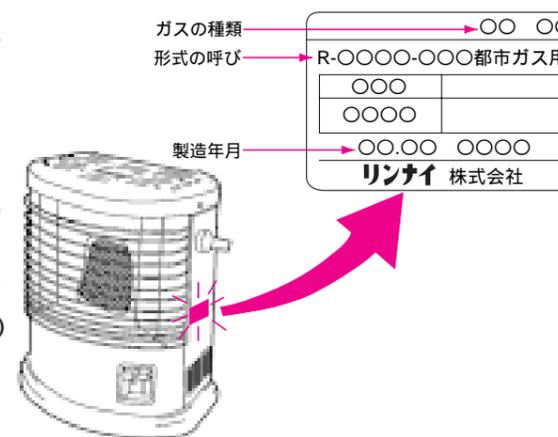
使用ガスについて

使用ガスを確かめる



確認する

機器本体銘板に表示してあるガス(ガスグループ)以外では使用できません。表示のガスが一致しない場合は、不完全燃焼による一酸化炭素中毒の危険性があり、爆発点火および機器の故障の原因になります。また、やけどのおそれがあります。転居されたときにも、ガスの種類を必ず確認してください。わからない場合は、お買い上げの販売店またはもよりのガス事業者(供給業者)にご相談ください。



火災予防

燃えやすいものからは離して設置



発火注意

機器の上や周囲には燃えやすいものを置かないでください。また、機器を設置の際は、家具・壁・カーテンなど燃えやすいものに近づけないでください。火災の原因になります。



可燃性ガスの近くで使用しない



禁止

ガソリン、ベンジン、スプレーなど引火のおそれのあるものを近くで使用している際は、機器を使用しないでください。引火・爆発のおそれがあります。

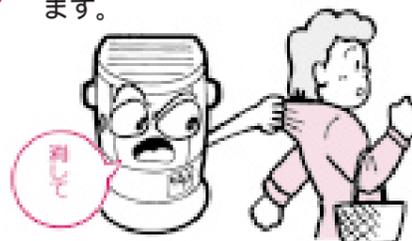


火を消し忘れない



禁止

火をつけたまま就寝や外出は絶対にしないでください。火災など予期せぬ事故の原因になります。



機器にはものを入れない



禁止

機器の中に紙、布、異物などを入れたり、ふさいだりしないでください。不完全燃焼や火災の原因になります。



換気必要

換気のご注意



換気する

使用中は1時間に1~2回、1分間程度換気扇を回すか、窓を開けるなどしてお部屋の空気を入れ替えてください。
空気中の酸素が減少し、不完全燃焼による一酸化炭素中毒のおそれがあります。



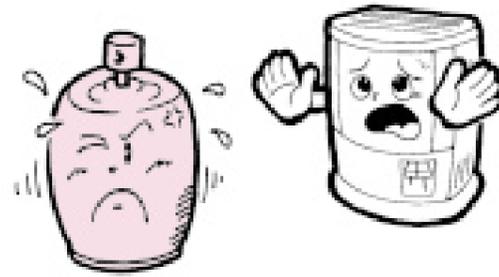
スプレー缶厳禁

スプレー缶を機器の前に置かない



禁止

スプレー缶(殺虫剤、ヘアースプレー、カセットコンロ用ボンベなど)を機器の前方に置かないでください。熱でスプレー缶内の圧力が上がり爆発するおそれがあります。



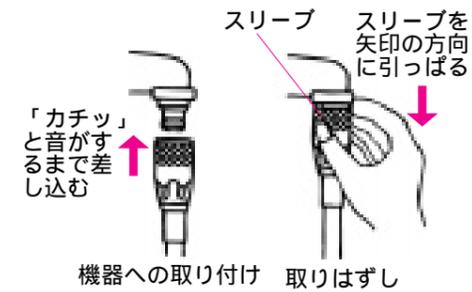
ガス事故防止

ガス接続はガスコードを使用する



必ず行う

ガスの接続は、必ず当社指定のガスコードを使用してください。

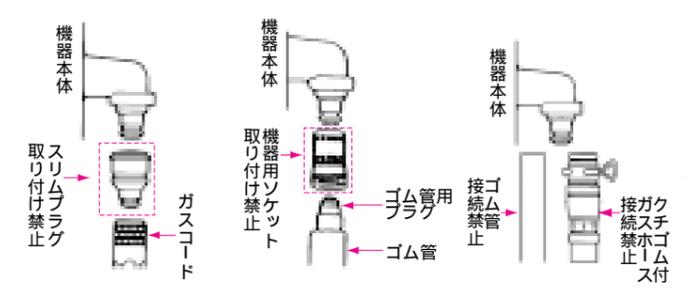


ガスコード接続のご注意



禁止

スリムプラグ取り付け禁止
機器用ソケット取り付け禁止
ガスコード以外のガスホース接続禁止



異常時の処置

異常時には



必ず行う

点火しなかったりご使用中に消火したり、また異常な燃焼、におい、異常音がするなどふだんと違った状態になったときや、地震、火災など緊急の場合は、あわてず ~ の処置をしてください。
そのままにしておくと、爆発や火災の原因になります。
異常を感じたときは「故障かな?と思ったら」(17ページ)を参照してください。それでもおわかりにならないときは、お買い上げの販売店、またはもよりの東邦ガス営業所、サービスセンターに連絡してください。



点火ボタンを「止」の位置に戻して消火する。



ガス栓を閉じる。

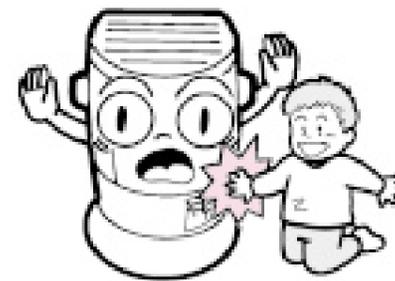
使用上の注意

幼いお子様にはさせない



禁止

幼いお子様にはさせないでください。
やけどやケガをするおそれがあります。



分解禁止

機器を分解しない



分解禁止

ガードや点検フタ以外は修理技術者以外の方は絶対に分解したり修理・改造は行わないでください。
不適当な分解や組み立ては思わぬ事故のもとになります。

廃棄について

廃棄時は乾電池を取りはずす



必ず行う

本機器を大型ゴミなどで廃棄される場合は、必ず乾電池を取りはずしてください。
そのままにしておきますと思わぬ事故になります。

⚠️ 注意

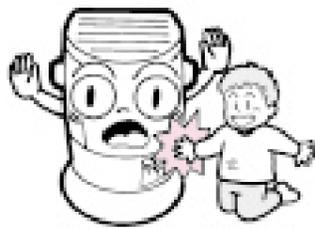
使用上の注意

やけどに注意



禁止

使用中および使用直後は、点火ボタン・火力切替ボタン以外は高温になっておりますので手を触れないでください。
やけどのおそれがあり危険です。



火災予防

火をつけたまま移動しない



禁止

火をつけたまま持ち運びしないでください。
ガスコードが抜けたり、折れたりしてガス漏れや異常燃焼の原因になります。また、やけどの原因にもなり危険です。



用途について



禁止

衣類の乾燥など暖房以外の用途には使用しないでください。
衣類が落下して火災になったり、思わぬ事故につながります。



機器に乗らない



禁止

機器の上に腰かけたり、乗ったりしないでください。
落下・転倒などにより、ケガの原因になることがあります。また、機器の故障ややけどのおそれがあります。



落下物に注意



禁止

たなの下など、落下物の危険のあるところでは使用しないでください。
火災のおそれがあります。



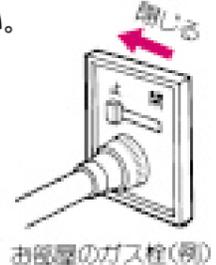
ガス事故防止

ガス栓を閉じる



ガス栓を閉じる

使用後は必ず点火ボタンを「止」の位置に戻し、消火したことを確かめてください。お出かけや、長時間使用しないときは、ガス栓を必ず閉じてください。



お部屋のガス栓(例)

設置場所

じゅうたんの上で使用する場合



必ず行う

毛足の長いじゅうたんのの上に置く場合は機器の下にじゅうぶで不燃性の敷き板などを敷いて水平にしてください。
じかにじゅうたんのの上に置くとじゅうたんが変色することがあります。

じゅうたんには敷き板を



禁止

また、電気カーペット・温水マットの上には設置しないでください。
機器の重みで電気カーペット・温水マットが故障する場合があります。

特殊な場所は避ける



禁止

乾燥室・温室・動植物の飼育室など、特殊な場所では絶対に使用しないでください。
植物が枯れたり動物が死亡するおそれがあります。



水のかかる場所へ設置しない



禁止

水のかかる場所には設置しないでください。また、天板の上になべやかんなどを乗せないでください。
お湯がこぼれて消火したり、落下してやけどの原因となります。



樹脂製品に注意



禁止

樹脂製の照明器具の下で使用しないでください。
照明器具のかさなどが変形することがあります。

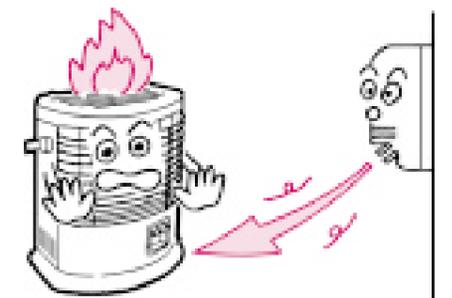


風に注意



禁止

エアコンや扇風機などの風を機器に当てないでください。
風により消火したり、異常燃焼の原因になります。



安全上のご注意 必ずお守りください

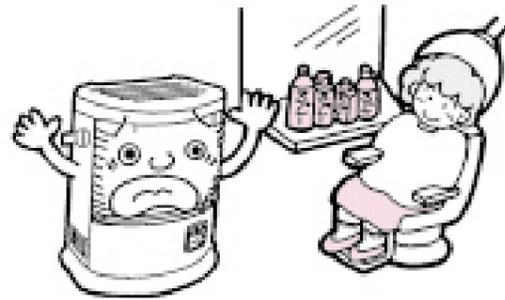
⚠️ 注意

スプレーや化学薬品を使用する場所では使用しない



禁止

理・美容院・工場など、スプレーや化学薬品を使用したり、綿ぼこりの多い場所では使用しないでください。機器の故障や、有害なガスや腐食性ガスの発生により、健康を害したり金属がさびたりする原因になります。



ドアの近くに置かない



禁止

ドアの近くなどに置かないでください。機器の転倒ややけどなどのおそれがあり危険です。



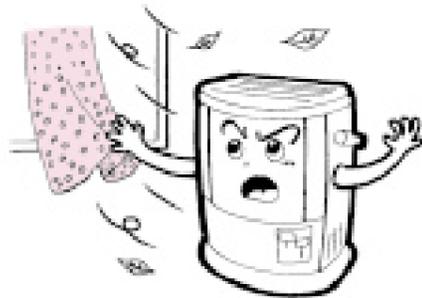
気をつけていただきたいこと

機器に強い風を当てない



禁止

強い風の吹き込む所では使用しないでください。炎が風で消えることがあります。



取っ手に注意



必ず行う

取っ手の位置は機器の後側へ下げた状態でご使用ください。取っ手を機器の上側の状態および途中で止まった状態でご使用されますと、取っ手が高温になり、やけどの危険や取っ手部が変形する場合があります。取っ手の取り扱いにはじゅうぶんに注意し、手荒なご使用はしないでください。

取っ手の可動範囲
移動するとき



結露に注意



換気する

この機器は室内燃焼機器のため、気密の高いお部屋などでは、壁や天井が結露する場合がありますので、換気をしてください。

一般家庭用製品です



確認する

この機器は、一般家庭用ですので、業務用のような使い方をされますと著しく寿命が縮まります。

機能と特長

このガス赤外線ストーブは、お部屋を快適に暖かくするようにと、次のような特長をそろえました。

ぜひ、あなたのお部屋で活躍させてください。

能力 2 段階切替装置付

お部屋の状態に合わせ、「全開」「半開」の2段階に切り替え経済的に使用できます。

☞ 13ページ参照

電池式連続放電点火装置付

点火・消火はプッシュ式で簡単に操作ができます。

☞ 12・13ページ参照

不完全燃焼防止装置付

お部屋の酸素不足などによる、不完全燃焼を防ぐ安全装置付です。自動的に消火します。

☞ 18ページ参照

立消え安全装置付

ご使用中に炎が消えてしまったときにガスを止め生ガスの放出を防止します。

☞ 18ページ参照

転倒時消火装置付

機器が倒れたり、強い衝撃が加わったとき、自動的に消火し事故を防ぐ安全装置付です。

☞ 18ページ参照

各部のなまえとはたらき

ガス赤外線ストーブの各部のなまえとはたらきをご紹介します。

天板
排気の出口になっています。ご使用中、使用直後は熱くなっていますので注意してください。

ガード
反射板を掃除するときにはずします。
☞16ページ参照

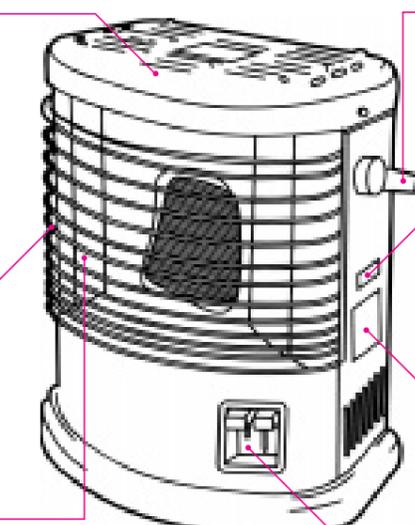
反射板

取っ手
機器を移動するときに使います。

銘板
ガスの種類が表示してあります。
☞2ページ参照

ご注意ラベル
使用上での注意事項が表示してあります。ご使用前にお読みください。

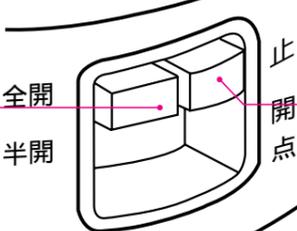
正面



操作部

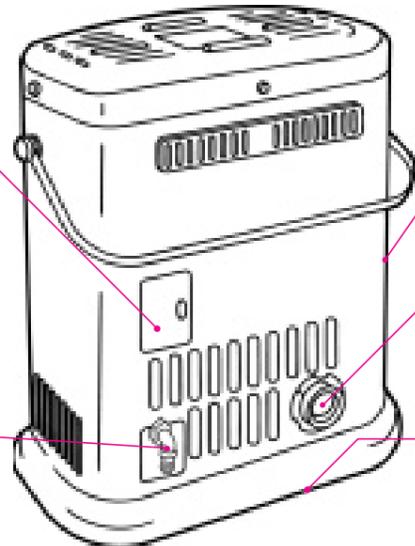
火力切替ボタン
火力切替をするための押しボタンです。
☞13ページ参照

操作部



点火ボタン
点火・消火するための押しボタンです。
☞12・13ページ参照

背面



点検フタ
バーナーの空気口の掃除をするときにはずします。
☞15ページ参照

ガス接続口
ガスコードの接続口です。(自在型)
☞11ページ参照

ご注意ラベル
使用上での注意事項が表示してあります。ご使用前にお読みください。(機器左側面に貼付)

不完全燃焼防止装置 空気取り入れ口

電池ケース
乾電池を入れます。本体底部にあります。
☞16ページ参照

機器の設置

設置前の準備と確認

梱包を取ります。

各部分のあて紙やテープなど包装部材を取り除きます。ガス接続口には、輸送・保管時におけるゴミ混入防止のためキャップがついています。取りはずして使用してください。

乾電池を取り付けます。

電池ケースの中に乾電池(単2形 1.5V)を確実にセットしてください。

お願い

保管の状態(機器をねかせたり、逆さまの状態では保管されていた場合)によっては転倒時消火装置が作動したままになっている場合がありますので、万一火がつかない場合はガス接続口のキャップをはずし、点火ボタンを押し下げた状態でガス接続口付近の本体を軽くたたいてください。

設置場所について

火災予防のために

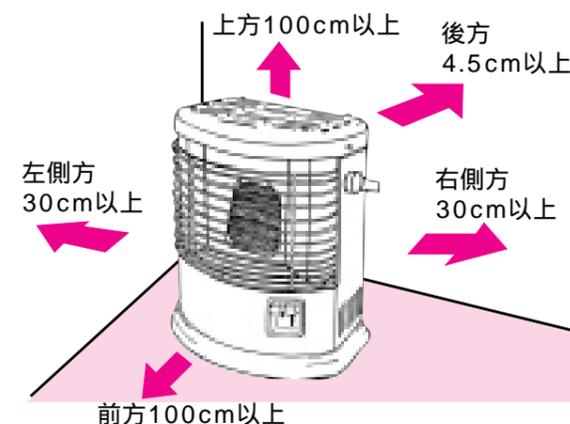
⚠注意



必ず行う

周囲の可燃物からは、じゅうぶん離してください。

機器の前方は、 100cm以上
後方は、 4.5cm以上
上方は、 100cm以上
両側方は、 30cm以上
燃えやすいものから離してください。



⚠注意



必ず行う

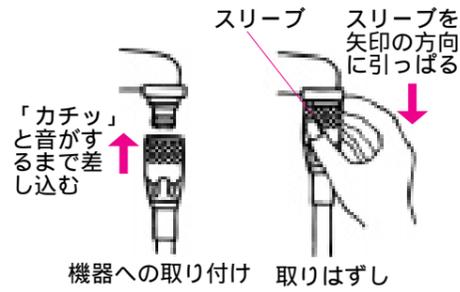
毛足の長いじゅうたんの上に置く場合は、じゅうぶで不燃性の敷き板などを敷いて水平になるようにしてください。

機器の設置

ガスの接続

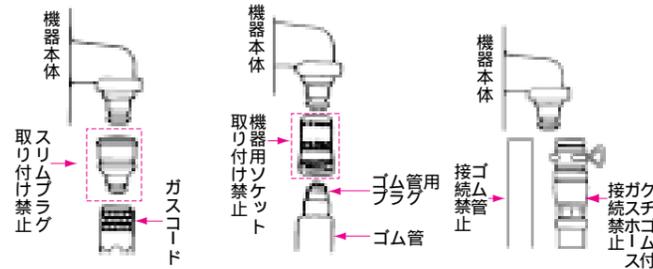
警告

必ず行う
 ガスの接続は必ず当社指定の
 ガスコードを使用してください。

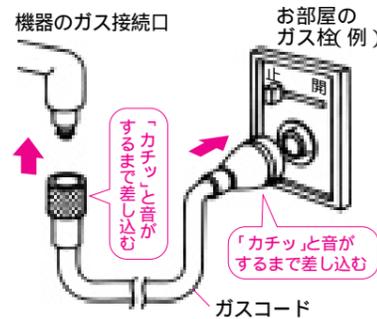


禁止

スリムプラグ取り付け禁止
 機器用ソケット取り付け禁止
 ガスコード以外のガスホース接続禁止



機器の接続口、ガス栓とともに「カチッ」と音がする
 まで確実に差し込んでください。



お願い

ひびわれたりして古くなったガスコードは、必ず取り替えてください。
 ガスコードが、折れたり、ねじれたりしないようにできるだけ短く接続してください。
 (ガスコードの長さは、できるだけ2m以内で、長くても5m以内になしてください。)
 ガスコードは、機器の下を通したり、機器の高温部に触れないようにしてください。
 ガスコードは、他の部屋まで延長したり、壁・天井などを通したりしないでください。
 ガス接続部に傷がついたり、異物が付着するとガス漏れの原因となりますので、ていねいに清潔にお取り扱いください。また、お使いにならない時は、キャップをガス接続口にはめてください。

機器への取り付けにおいて不明な場合は、お買い上げの販売店、またはもよりの東邦ガス営業所、サービスセンターにご連絡ください。

使用方法

点火前の準備と確認

警告

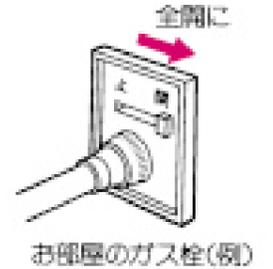


確認する

1 機器の近くにスプレー缶や燃えやすいものがないことを確認してください。



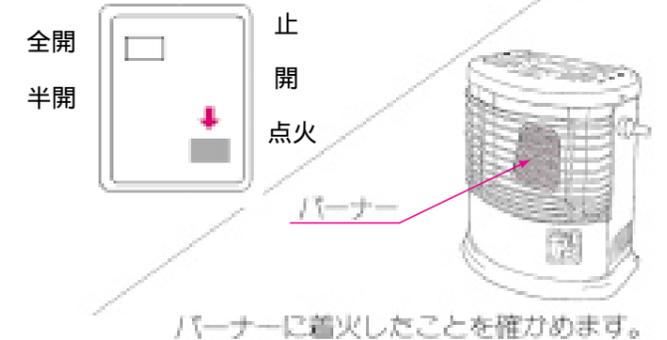
2 ガスの接続が確実であること、点火ボタンが「止」になっていることを確かめ、お部屋のガス栓を全開にします。



点火のしかた

点火ボタンを押します。

点火ボタンを、「点火」の方向へゆっくりいっぱい止まるまで押しください。
 スパーク音がして点火します。
 点火を確認してから点火ボタンよりゆっくり手を離してください。
 点火ボタンより手を離してからバーナーの着火(バーナー表面が赤熱します)を確かめてください。



お願い

点火の際は、機器に顔を近づけないでください。
 はじめて点火するときは、ガスコード内に空気が入っていて点火しにくいことがあります。この場合は、空気が抜けるまで点火操作をくり返してください。
 点火しなかったり、点火ボタンから手を離れたときバーナーの火が消えるときには、すぐに点火ボタンをいったん「止」の位置に戻してからあらためて点火操作をくり返してください。
 点火ボタンは、押し続けた後、急に手を離しますと「止」の位置まで戻ってしまう場合があります。ボタンはゆっくり手を離してください。
 点火ボタン・火力切替ボタンは、強く押ししたり足で押さえたりしないでください。

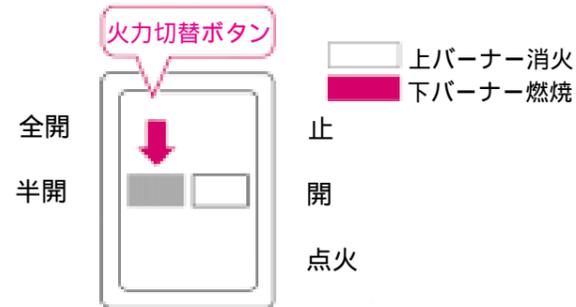
使用方法

火力切替のしかた

火力切替は火力切替ボタンを操作し行います。

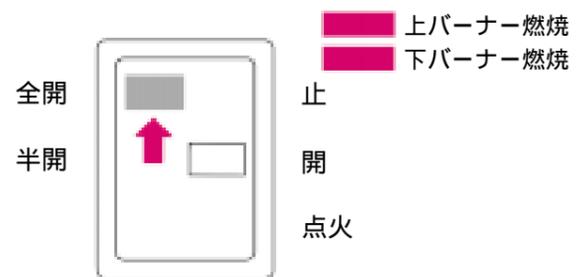
1 全開から半開にしてご使用の場合

火力切替ボタンを「半開」の位置へいっ
ぱい下げると半開の状態になります。



2 半開から全開にしてご使用の場合

火力切替ボタンを「全開」の位置へいっ
ぱい上げると全開の状態になります。
バーナーに着火し赤熱するのを確かめて
ください。



消火のしかた

点火ボタンを「止」の位置へ戻します。

点火ボタンを「止」の位置へいっぱい上
げます。
「止」の位置へ戻ると消火します。
必ず消火したことを確かめてください。



お願い

はじめて使用されたとき、煙やおいが出る場合がありますが、部品に付着した油などが焼けるためで異常ではありません。しばらく換気しながらご使用ください。
ガス量をしばると放射効果が落ちるばかりでなく、不完全燃焼を起こすおそれがありますので、ガス栓は全開でお使いください。

点火初期にバーナー上下の赤熱状態が違いますが、数分後にほぼ同一になります。
点火初期に数分間燃焼音（ブーブー音）がする場合がありますが異常ではありません。
点火時や消火時に金属の伸縮音（ピチピチ音）がすることがありますが異常ではありません。
常時燃焼型パイロットバーナーを採用していますので、機器をご使用中はパイロットバーナーが燃焼し続け消火しません。

日常の点検とお手入れ

安全にお使いいただけるように、点検とお手入れは定期的に行いましょう。

警告



ガードや点検フタ以外は、修理技術者以外の方は絶対に分解したり修理・改造は行わないでください。不適当な分解や、組み立ては思わぬ事故のもとになります。

日常の点検

ガスコードは折れたり、ひびわれたりしていませんか？

ガスコードや接続部からガスが漏れていないか、ときどき石けん水をつけ、泡がでないことを確認してください。

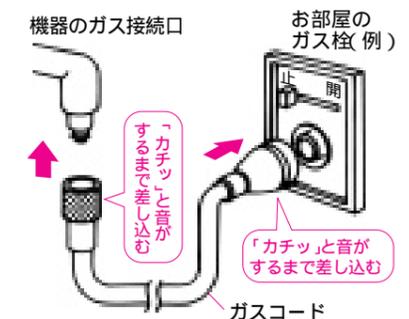
警告



ひびわれたり、差し込み部がゆるんだガスコードは、必ず取り替えてください。

ガスコードは正しく接続されていますか？

ガスコードはガス栓・機器のガス接続口とも「カチッ」と音がするまで確実に差し込み、接続してください。



お願い

日常の点検、お手入れの際にはガス栓を閉じ、機器がじゅうぶんに冷えてから行ってください。機器本体には安全に関するご注意ラベルが張ってあります。汚れたり、読めなくなった時は、やわらかい布などでよごれを拭き取ってください。また、お手入れの際には、はがれないようご注意ください。
もし、はがれたり読めなくなった場合は、お買い上げの販売店、またはもよりの東邦ガス営業所、サービスセンターで新しいラベルをお買い求めのうえ、張り替えてください。

日常の点検とお手入れ

お手入れ

お願い

お手入れは、ケガを防ぐためにも、手袋をはめて行うことをおすすめします。

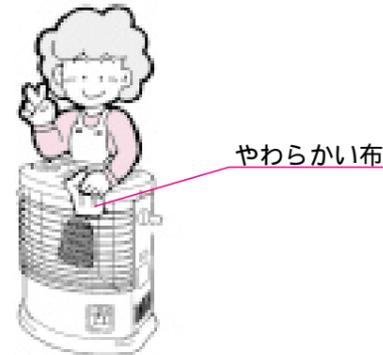
機器のお手入れ

汚れたらそのつどお手入れをしてください。

やわらかい布をぬるま湯でぬらしてよくしぼってから拭いてください。

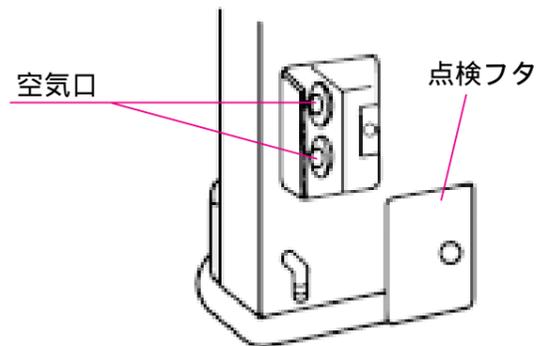
特に汚れのひどいときには、やわらかい布に台所用中性洗剤をつけて拭き取ってください。

ホーローの天板やバーナー枠、バーナー部の反射板は長時間使用しますと変色したり、スジが入ったりすることがありますが実用上問題はありません。



バーナー空気口のお手入れ

長期間使用しますと機器内にほこりが入り、バーナー空気口（空気取り入れ部）などにほこりがたまり、バーナーの赤熱具合が悪くなる場合があります。この場合は、電気掃除機などで取り除くか点検を依頼してください。また、定期的なお手入れをおすすめします。



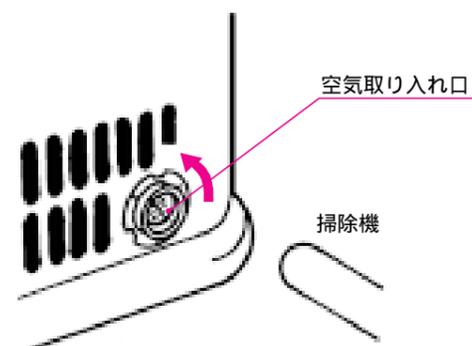
空気口は点検フタをはずし（ネジで固定してあります）掃除してください。

お願い

機器内部の部品は調整してありますので触れたり、変えたりしないでください。

空気取り入れ口のお手入れ

不完全燃焼防止装置の空気取り入れ口にたまったほこりやごみなどを掃除機などで取りのぞいてください。汚れのひどいときは、台所用中性洗剤を使って水洗いした後、じゅうぶん乾燥させてください。



空気取り入れ口は左方向へ回すとはずれます。

反射板のお手入れ

反射板はガードをはずしてお手入れします。お手入れを長期間しないとほこりがたまったり、暖房効果が悪くなります。

ガードのはずし方

ガードを上へあげます。

下部を手前へ引き、はずします。



お願い

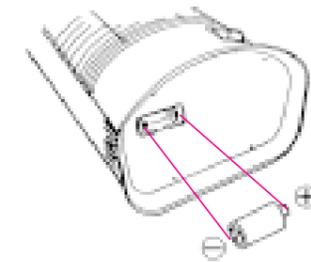
機器・反射板のお手入れは、消火後機器がじゅうぶんに冷えたのを確かめてから行ってください。化学ぞうきんやベンジン、シンナーなど揮発性のものは、絶対にご使用にならないでください。塗装の色があせたり、樹脂の部品が変色したりします。

乾電池の点検・交換

この機器は乾電池による連続放電点火方式を採用していますのでお使いになる前に乾電池を入れてください。

乾電池の取り付け方法

乾電池は機器底面の電池ケースに取り付けてください。



単2形 1.5Vの乾電池を使用し確実にセットしてください。

乾電池の寿命について

乾電池は長期間ご使用になると能力が低下します。点火ボタンをいっぱい押した時「パチッパチッ」と音がしますが、ゆっくり音がする（1秒間に1～2回）ようになったら乾電池を交換してください。

お願い

乾電池はシーズンオフなど長期間使用しないときは、取りはずしておいてください。

故障かな?と思ったら

故障かな?と思ってもよく調べてみると故障でない場合もあります。
修理を依頼する前に、もう一度次の点をお調べください。

現象	点火しない・点火しにくい	点火ボタンより手を離すと消火する	ガスくさい	着火・火移りしにくい	爆発的に着火する	使用中に消火した、消火しやすい	バーナーがじゅうぶんに赤熱しない	点火時に「ポツ」という音がする	点消火後「ピチピチ」という音がする	はじめて使用するとき煙やにおいがでる	処置方法 (理由)	参照ページ
ガス栓の開きやすれ	●										ガス栓を全開にする	12
ガス栓の開きが不じゅうぶん	●	●		●	●	●	●					
転倒時消火装置が作動している	●										転倒時消火装置を解除する	10
ガスコードの接続が不完全	●	●	●	●		●	●				ガスコードを確実に接続する	11
ガスコード内に空気が残っている	●	●		●							点火操作をくり返す	12
ガスコードの折れ、まがり、つぶれ	●	●		●		●	●				ガスコードの折れ、まがりを直す	11
ガスコードのひびわれ、穴あき	●	●	●	●		●	●				ガスコードを交換する	11
長時間換気をせずに使用している						●					部屋を換気する	3
バーナーの空気口にほこりが詰まっている							●				空気口の掃除をする	15
機器が転倒した						●					機器を起こす	18
点火ボタンを押す力が不じゅうぶん	●	●									点火ボタンをいっぱい押す	12
点火ボタンを押す時間が不足	●	●									点火ボタンを押す時間を長くする	12
機器に強い風が当たった						●					部屋の窓や戸を閉める	7
乾電池が消耗	●										乾電池を交換する	16
故障ではありません								●			点火するときの音です	—
									●		機器内部の膨脹・収縮音です	13
									●		しばらく換気しながら使用する (油などが焼けるためです)	13

警告



絶対にお客様ご自身で修理なさないでください。
不備がありますと、火災・感電などの原因になります。

このほかに異常があるときや、おわかりにならないときは、お買い上げの販売店、またはもよりの東邦ガス営業所、サービスセンターにご連絡ください。

安全装置が作動したときの処置

使用中にバーナーが消火したときは、すぐに点火ボタンを消火の状態に戻してガスを止め、さらにお部屋のガス栓も閉じて、安全装置が作動していないか調べてください。

安全装置	働 き	原 因	処 置 方 法
立消え安全装置	使用中に炎が消えてしまったとき、ガスを止め消火します。	ガスコードがつぶれたり、ガス栓の開きが少なかったときや、強い風が吹いたときなどにおこります。	点検後、再点火してください。
不完全燃焼防止装置	不完全燃焼をする前に、ガスを止め消火します。	ガスが正しく燃えるためには、ガスの6～10倍もの空気が必要です。閉めきった部屋で長時間使用すると空気中の酸素が減少し、不完全燃焼して、一酸化炭素が発生する危険があります。バーナーの空気口にほこりが詰まっても同様です。	じゅうぶんに部屋の換気を行い、バーナーの空気口部の掃除を行った後、再点火してください。 ☞15ページ参照
転倒時消火装置	機器が倒れたり、強い衝撃が加わったときに、ガスを止め消火します。	機器が倒れたときなどにおこります。	いったん点火ボタンを「止」にし30秒程待ってから、再点火してください。すぐに再点火しますと、転倒時消火装置が作動しているため、ガスが流れず点火しません。

安全装置が作動した後、点検して再点火しても、たびたび同じように作動をくり返すような場合は、お買い上げの販売店、またはもよりの東邦ガス営業所、サービスセンターにご連絡ください。

保管とアフターサービス

保管（長期間使用しない場合）

⚠警告



必ず行う

ガス栓を閉じ、ガスコードをガス栓から取りはずしてください。

機器の点検・お手入れをしてから保管してください。

各部の汚れを取り除き、ほこりなどの異物が入らないようにビニールをかけてください。
特にガス接続口やガスコードには、ほこりやごみが入ってガス通路を詰まらせないように、付属のキャップをしてください。
湿気やほこりの少ないところに保管してください。
お求めになったときの箱に入れておかれると便利です。
ベランダなど直射日光のあたる場所や高温になるところでの保管は、樹脂部分の変色や変形のおそれがありますので、お避けください。

お願い

機器をねかせたり、逆さまの状態では保管しないでください。転倒時消火装置が作動した状態のままとなり、再使用時に使用できない場合があります。

アフターサービスについて

サービスのお申し込み

17ページの「故障かな？と思ったら」の項を見てもう一度ご確認ください。

⚠警告



禁止

確認のうえ、それでも不具合がある場合、あるいはご不明な場合はご自分で修理なさらないで買い上げの販売店、またはもよりの東邦ガス営業所、サービスセンターにご連絡ください。
そのままご使用になりますと、故障や感電・火災の原因になります。

なお、ご連絡いただくときは、次のことをお知らせください。

- (1)品名...RSS-22BD,RSS-33AD,RSS-44BD
- (2)形式の呼び...機器本体の銘板に表示してあります。
(R-452PMS III -301,R-652PMS III -301,R-852PMS III -301)
- (3)故障または異常の内容（できるだけ詳しく）
- (4)お名前・ご住所・電話番号・道順（できるだけ詳しく）
- (5)訪問ご希望日

転居される時

⚠警告



連絡する

ガスには都市ガス13種類およびLPガスの区分があります。
ガスの種類が異なる地域へ転居される場合には、部品の交換や調整が必要となりますので、転居先のガスの種類を確認のうえ、お買い上げの販売店、またはもよりの東邦ガス営業所、サービスセンターまたは転居先のガス事業者にご相談ください。ただし、ガスの種類によっては調整できない場合もあります。

転居にともなう調整や改造の費用は、保証期間内でも有料となります。

保証について

この機器には、保証書がついています。

保証期間中は保証書に記載のように、機器の故障について修理いたします。くわしくは、保証書をごらんください。保証書を紛失されますと、無料期間中であっても修理費をいただくことがありますので、この取扱説明書とともに大切に保管してください。

保証期間経過後の故障修理について

お買い上げの販売店、またはもよりの東邦ガス営業所、サービスセンターにご相談ください。修理によって機能が維持できる場合は、お客様のご要望により有料修理いたします。

補修用性能部品の最低保有期間について

補修用性能部品の最低保有期間は、当製品の製造打切後6年間となっています。なお、補修用性能部品とは、その製品の性能を維持するために必要な部品です。

点検整備のおすすめ（有料）

長期間、安全快適にご使用いただくために定期的に(3シーズンに1回程度)「点検整備」を受けられることをおすすめします。

「点検整備」は、お買い上げの販売店、またはもよりの東邦ガス営業所、サービスセンターにご用命ください。（有料）

「点検整備」の内容は、下記の通りです。

機能部品の点検、確認
掃除整備

仕様・寸法図

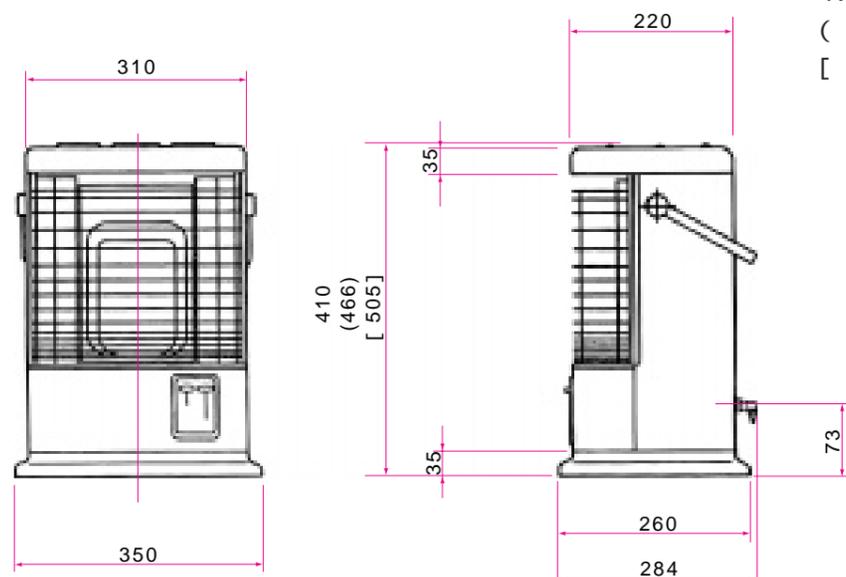
MEMO

仕様

品名		RSS-22BD	RSS-33AD	RSS-44BD			
種類	設置の形態	すえ置式					
	給排気方式	開放式					
	放熱方式	放射式					
点火方式		電池式連続放電点火式					
暖房のめやす		木造 6畳まで コンクリート造 8畳まで	木造 9畳まで コンクリート造 12畳まで	木造 10畳まで コンクリート造 14畳まで			
		注) 暖房のめやすは温暖地を基準にしています。					
外形寸法	高さ	410mm	466mm	505mm			
	幅	350mm	350mm	350mm			
	奥行	284mm	284mm	284mm			
質量		5.1kg	6.0kg	6.8kg			
安全装置		立消え安全装置・転倒時消火装置・不完全燃焼防止装置					
ガス接続		ガスコード					
使用ガス、使用ガスグループ		形式の呼び	1時間当たりのガス消費量	形式の呼び	1時間当たりのガス消費量	形式の呼び	1時間当たりのガス消費量
都市ガス用	13 A	R-452PMSⅢ-301	2.15kW	R-652PMSⅢ-301	3.26kW	R-852PMSⅢ-301	4.07kW
	12 A	R-452PMSⅢ-301	2.03kW	R-652PMSⅢ-301	3.08kW	R-852PMSⅢ-301	3.84kW

寸法図

単位：mm



RSS-22BD
 ()内はRSS-33AD
 []内はRSS-44BD

東邦ガス株式会社

名古屋市熱田区桜田町19番18号 〒456-8511
TEL.052-871-3511(大代表)



販売店名

製造者 リンナイ株式会社

名古屋市中川区福住町2番26号 〒454-0802
☎052(361)8211(代)

452P-171x02(00)
020700 ©